



No.1

2020/08

品質管理課 住友

品質管理課 住友です。

品質かわら版として、現場で指導の際に使える資料やお役に立てる清掃の情報を発信して行きたいと思います。

まずは、汗をかくこの時期はタオルやゴム手袋【悪臭】問題が必ず発生します。毎年です。臭いの原因をはじめ、ゴム手袋の洗い方・管理方法をあらためて見ていきましょう。

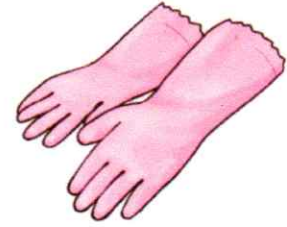
現場を訪れると、意外と徹底されていないのかゴム手袋の取り扱いです。個人管理を行っている現場・洗濯機を使用し一括で管理している現場・・・様々です。各現場の事情もあると思います。

但し、**洗浄 → 濯ぎ → 乾燥 → 保管** については統一出来ます。特に、乾燥「ゴム手袋の干し方」は重要なポイントとなります。【悪臭】が発生しない正しい管理を行きましょう。

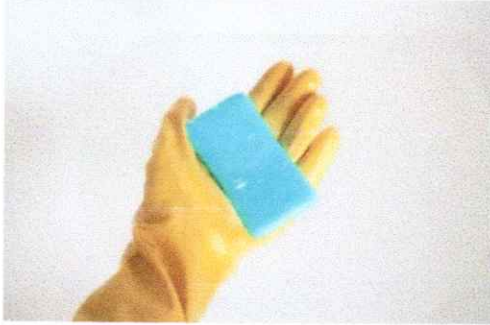
今月は、**ゴム手袋の取り扱い** について取り上げます。

清掃では、必ず使用します。基本をあらためて確かめましょう。

①まずは外側から洗っていきます



洗う



外側を洗う時は、
手袋をつけたまま、石けんをつけてこすります

濯ぐ



汚れが落ちたら、綺麗にすすぎます

②次は内側の洗い方です。ひっくり返してから洗います



口の部分に手を入れ、くるっと内側を出し



中に水をためて



圧をかけ指を押し出します



水の圧力を使う指先を押し出すと楽です

③すすぐ



きれいに濯ぎを行いましょう

臭いが発生した場合は
手袋を交換しましょう。



④干す



中指を上、洗濯ばさみ等で挟みつるし干しにしましょう

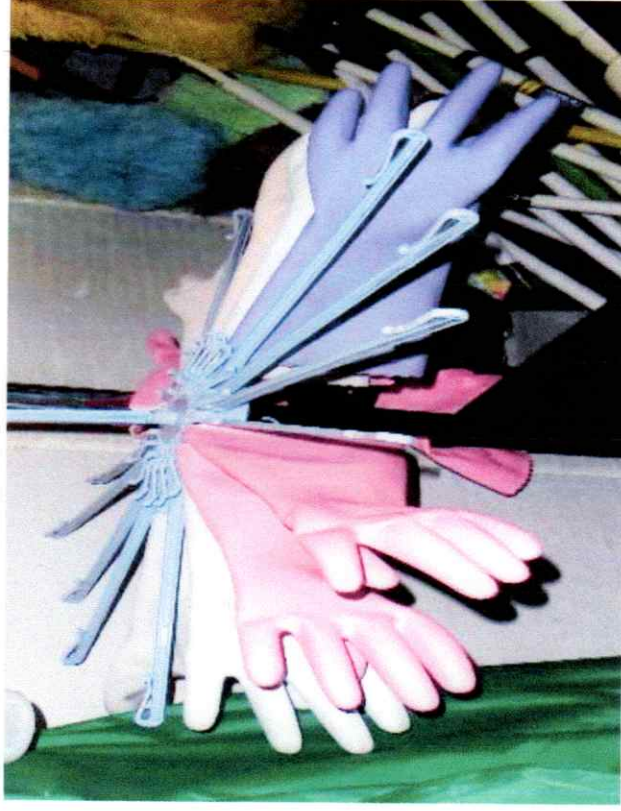


ゴム手袋のカビ・悪臭を
予防するには“乾燥”が
重要なポイントになります。
しっかり乾燥させましょう。

④保管

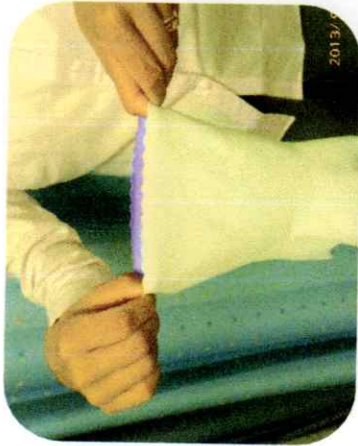
乾燥した手袋は、裏側のまま保管しましょう

手袋の干し方 (悪い例)



- 手袋を裏返し 干していない為 内側の乾燥が出来ない
- 手袋を裏返しているが、指を上干していない為 水切りが出来ていない

乾燥した手袋を元の状態に戻す方法



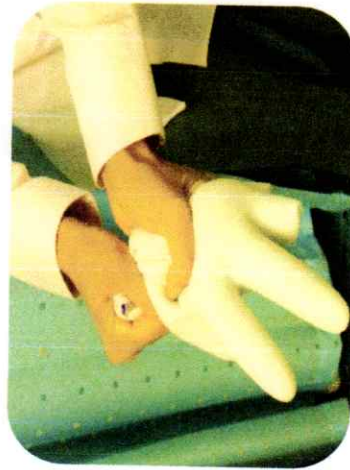
手袋裾を引っ張りながら、
広げる



手袋を回転させ、空気を
入れる



空気が漏れないよう手袋の袖口をお
さえる



指先へ向かって、空気を送り込む



指先を上にし、完全に手が乾
燥するまで干す